



記事を読んで、問いに答えましょう。

秋田市出身の冒険家阿部雅龍(まさたつ)さん(39)が今年11月、誰も踏破したことがない「白瀬ルート」での南極点到達に再挑戦する。集大成として一人でのりを引き臨んだ前回は、悪条件が重なり途中で断念。初の失敗を経験した。明治時代の軍人白瀬(のぶ)の南極探検から今年で110年。「エンドロールを流すのは自分しかない」と歩みを止めた地点から冒険を再開する。

白瀬ルートは、日本人で初めて南極探検をした同郷・秋田の白瀬陸軍中尉が撤退した「大和雪原」を起点にする。阿部さんは昨年11月に出発。白瀬の足跡を南

## 未踏ルートで南極点に挑む

### 冒険家阿部さん 失敗乗り越え



南極の地圖を持ち、ルートを示す冒険家の阿部雅龍さん＝1日、秋田市



極点までつなぐと、約1300キロの単独踏破を目指した。

冒険は悪条件続き、時間との闘いだ。新型コ罗纳イルス禍でベースキャンプの開設や雪原までの飛行機が遅れ、活動期間は予定より約20日短縮。ルート上には雪の裂け目「クレパス」が口を開け、大幅な迂回(うかい)も余儀なくされた。睡眠時間を削り、1日約12時間、真っ白な世界を歩き続けた。重さ150キロのそりを引き休みなく動かす体は痛み、相談相手も

①阿部さんが南極点到達に挑む未踏ルートは何と呼ばれるルートですか。  
( )

②前回の挑戦では、南極点まで約何キロの単独踏破を目指しましたか。  
約( )キロ

③失敗した前回の挑戦の中で、あなたが特に「たいへんだな」と思った点は何ですか。1つ書きましょう。

[ ]

④阿部さんの再挑戦への強い意志を支えているものは何だと思いますか。30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。


作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／道徳、特別活動、総合)

年 組 名前



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう

解答例



2022年 4月22日夕刊

記事を読んで、問いに答えましょう。

## 未踏ルートで南極点に挑む

冒険家阿部さん 失敗乗り越え



南極の地図を持ち、ルートを示す冒険家の阿部雅龍さん＝1日、秋田市

秋田市出身の冒険家阿部雅龍（まさたつ）さんが今年11月、誰も踏破したことがない「白瀬ルート」での南極点到達に再挑戦する。集大成として一人ですりを引き臨んだ前回は、悪条件が重なり途中で断念。初の失敗を経験した。明治時代の軍人白瀬瀧（のぶ）の南極探検から今年で110年。「エンドロールを流すのは自分しかない」と歩みを止めた地点から冒険を再開する。

白瀬ルートは、日本人で初めて南極探検をした同郷・秋田の白瀬陸軍中尉が撤退した「大和雪原」を起点にする。阿部さんは昨年11月に出発。白瀬の足跡を南極点までつなごうと、約1300キロの単独踏破を目指した。冒険は悪条件続き、時間との闘いだ。新型ゴロナウイルス禍でベースキャンプの開設や雪原までの飛行機が遅れ、活動期間は予定より約20日短縮。ルート上には雪の裂け目「クレバス」が口を開け、大幅な迂回（うかい）も余儀なくされた。睡眠時間を削り、1日約12時間、真っ白な世界を歩き続けた。重さ150キロのそりを引き休みなく動かす体は痛み、相談相手も



①阿部さんが南極点到達に挑む未踏ルートは何と呼ばれるルートですか。

( **「白瀬ルート」** )

②前回の挑戦では、南極点まで約何キロの単独踏破を目指しましたか。

約( **1300** )キロ

③失敗した前回の挑戦の中で、あなたが特に「たいへんだな」と思った点は何ですか。1つ書きましょう。

活動期間の約20日短縮  
ルート上の雪の裂け目「クレバス」による大幅な迂回  
睡眠時間を削り、1日約12時間の真っ白な世界の歩行  
重さ150キロのそりを引くこと／休みなく動かす体の痛み  
相談相手がないため、自分を保つことが大変なこと  
航空会社の運航期間終了と重なるタイムリミット など

④阿部さんの再挑戦への強い意志を支えているものは何だと思いますか。30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 白瀬隊の思いを今度こそ南極点まで連れて行くという新たな決意。(30字)  
どんな条件でも困難を乗り越えていくのが冒険家だという思い。(29字)  
この挑戦を成功させることが人生をかけた夢だから。(24字) など

いない。「自分を保つことが一番大変だった」  
54日間で行程の半分を越える約780キロを歩いたところで、航空会社の運航期間終了と重なり、タイムリミット。今年1月11日に中断を決めた。ゴールが難しいのは分かっていたが「夢の道。最後までチャレンジしたかった」。

幼少期から白瀬に憧れた阿部さんにとって、「白瀬ルート」の踏破は人生をかけた夢だった。アマゾン川のいかだ下りや、別ルートでの南極点到達などを経て、実績を積んだ。これまで冒険をしない時期は東京・浅草で観光客向けの人力車夫として生計を立ててきたが、前回の挑戦前に人力車を手放した。退路を断つて出発しただけに「失敗を認めるのも難しかった」と苦笑する。

再度の資金集めに加え、ルート上には4千級級の南極横断山脈越えも待ち構える。困難が多いが「どんな条件でも乗り越えていくのが冒険家。白瀬隊の思いを今度こそ南極点まで連れて行く」と決意を新たにしている。

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／道徳、特別活動、総合)

年 組 名前